

松尾鉱山資料館の全体概要と魅力

岩手県にある松尾鉱山は、1882年に八幡平の山岳地域で硫黄鉱石の大規模な露頭が発見されたことを受けて、1901年に開発が始まりました。1つの鉱体が広さ1,500平方メートル、深さ25～150メートルに広がり、東アジア全域で当時発見されていた硫黄鉱床の中でも最大の規模を誇っていました。1888年に試掘願が出されると、鉱業権の所有者が移り変わりながらも露天掘りや坑内掘りが継続して行われました。1914年に松尾鉱業株式会社が設立されるとともに本格的な掘削が始まり、同年には20基の製錬炉が建設され、硫黄鉱石の輸送と物資の搬入のために7キロの人車軌道が敷設されました。その3年後には小学校が建てられ、この地は産業の中心としてだけでなく何千人もの人々が暮らすコミュニティとして栄えたのです。

1914年から松尾産業株式会社が倒産する1969年までの間に、松尾鉱山では2,900万トンもの硫黄と硫化鉄鉱石が抽出され、1,000万トンの硫酸と210万トンの精製硫黄が生産されました。柏台にある松尾鉱山資料館は松尾鉱山の歴史に特化した施設で、マッチやろうそく、輪ゴムといった身近な物からプラスチック、繊維、農薬などの工業製品まで、この地で抽出された硫黄や硫化鉄鉱石から作られた驚くほど多様な製品が展示されています。

松尾鉱山資料館

〒028-7303 岩手県八幡平市柏台2-5-6

電話：0195-78-2598

* * *

旧松尾鉱山跡地の詳細については、www.pref.iwate.jp をご覧ください。

岩手県全域の観光情報については、visitiwate.com をご覧ください。